

施設名称	〔7〕 東京都台東区立旧東京音楽学校奏楽堂					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H27.4.1	～	H32.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	文化施設5箇所					
(3)経営状況	27年度決算 歳入 617,374,153円 歳出 547,768,187円 収支差額 69,605,966円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区上野公園8-43					
(2)設置目的	奏楽堂は、昭和58年に東京藝術大学より寄贈を受けた。日本最初の木造洋式音楽ホールである。国の重要文化財でもあるため、奏楽堂を保存し生きた文化財として活用することにより、芸術文化の振興を図る。					
(3)利用者	区民ほか					
(4)開館日・時間	保存修復工事のため、平成25年4月1日より休館中である。					
(5)規模	延べ床面積 1,851.39㎡ 木造地上2階地下1階(一部RC) / 資料展示室、楽屋控え室、楽屋、練習室、倉庫、パイプオルガン機械室・倉庫、ステージ、ホール、ホワイエ、鑑賞室、応接室、資料整理室、資料保管室、事務室、発電機室など					
(6)人員体制	2名 派遣職員(1) 専門スタッフ(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	休館中における施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。					
(2)自主事業	日本歌曲コンクール、入賞記念コンサート、木曜コンサート、特別事業「バロックレクチャーコンサート～チェンバロの響きを愉しむ～」、チェンバロ公開講座					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	15,160,000	15,076,000	7,922,000	7,256,000	7,997,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	15,160,000	15,076,000	7,922,000	7,256,000	7,997,000
決算	委託料	14,571,627	13,936,905	7,052,612	6,636,898	7,680,701
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	14,571,627	13,936,905	7,052,612	6,636,898	7,680,701
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
開館日数	日	243	休館中	休館中	休館中	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(29年度)	25年度	26年度	27年度	
入館者数	人	休館中	休館中	休館中	休館中	
ホール利用率	%	休館中	休館中	休館中	休館中	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

工事開始に伴い、保有している寄贈資料等の燻蒸及び民間倉庫への移動作業を計画的に行うとともに、資料整理のための目録を作成するなど、適切な備品管理に努めた。また、休館中も継続して実施している「木曜コンサート」「日本歌曲コンクール」の事業についても順調に実施されている。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目									
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(b)サービス水準 [2]	(c)職員配置 [2]	(d)職員研修 [2]	(e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [-]	(g)自主事業の成果 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(i)緊急時対応 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(b)備品の管理 [2]	(c)清掃・衛生管理 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(c)利用者数等の目標達成 [-]		(d)利用しやすい環境整備 [-]	(e)関係団体・地域との関わり [2]				
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]			(c)収支計画の達成 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [-]				

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	「木曜コンサート」「日本歌曲コンクール」等の継続事業を始め、特別事業のレクチャーコンサートや公開講座についても円滑に行われた。
(2)施設の維持管理	A	工事開始に伴い、保有している寄贈資料等の燻蒸及び民間倉庫への移動作業を計画的に行い、適切な備品管理に努めた。
(3)利用者の満足度	A	東京藝術大学音楽部の准教授を招いてのレクチャーコンサートやチェンバロ公開講座の開催し、ネットワークの維持とともに利用者の満足度の高い事業を実施した。
(4)収入支出	A	工事開始に伴う寄贈資料等の移動作業のため、経費は増となったが、適正な予算執行を行っている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	休館中においても、職員による備品や施設管理は適切に行われている。また、事業運営についても継続事業をはじめ、関係団体とのネットワーク維持を考慮した特別事業も円滑に実施されている。
-----------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

今回、移動作業を実施した貴重な寄贈資料をはじめ、民間倉庫に保管されている楽器等の物品についても、これまで通り定期的に職員が赴き、適切な保守管理に努めていく。また、寄贈資料等の整理についてもデータベース化を進め、再開館に向けた準備を行っていく。